

# 浜松地域の経済動向

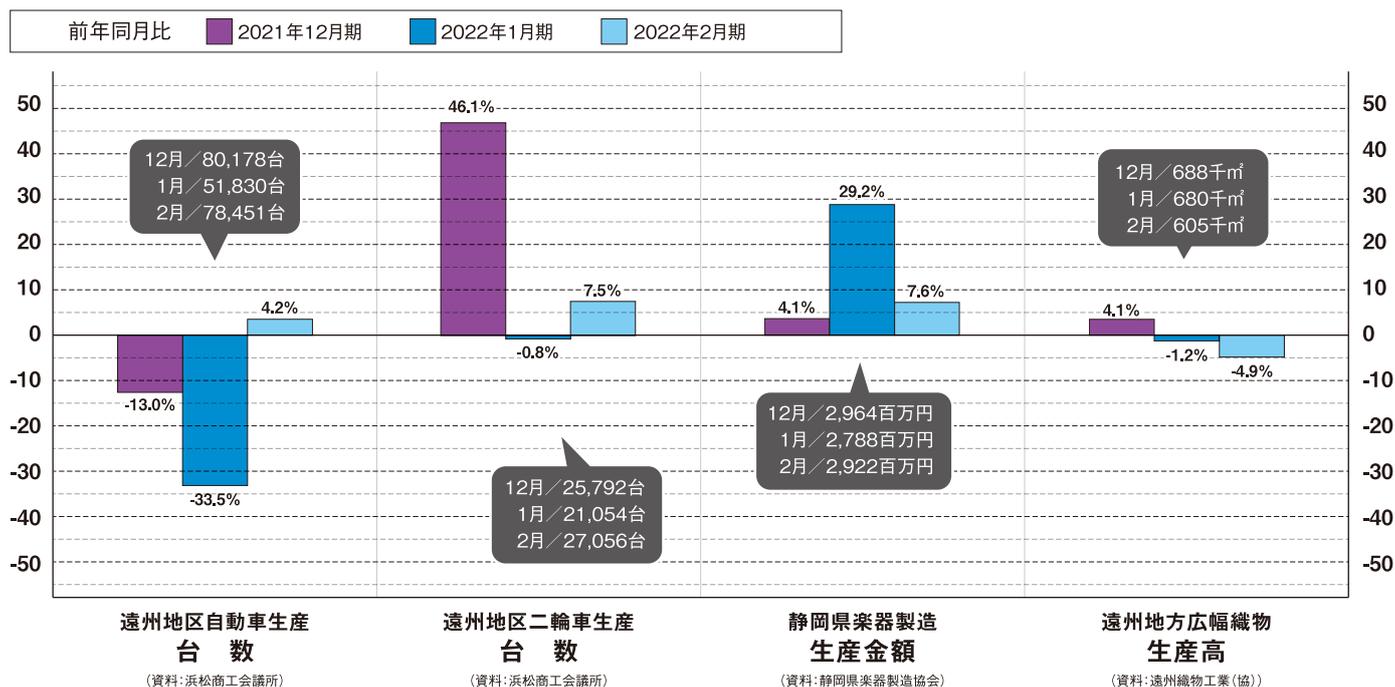
2022年2月を中心に

まん延防止等重点措置の影響もあり、  
運輸・観光業の業況は悪化した

自動車・二輪車の生産台数は半導体不足の影響が残るものの堅調に推移した。  
運輸・観光業では、まん延防止等重点措置が実施されていたため、タクシー乗車延べ人数は前年同月を大きく下回った。ホテル稼働率も観光支援策がなかったこともあり低調に推移した。  
ガソリン価格の上昇は止まらず、13年振りに170円を超える高値となった。  
円安が進行しており、物価上昇の要因となっている。求人数は堅調に増加しており雇用情勢の改善が続いている。



## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車

前年比 ↑

2022年2月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比4.2%増の7.8万台となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は6.8%増、小型四輪車は8.6%減、普通自動車は144.4%増となった。国内向けは7.2%増、輸出は4.9%減であった。需要は旺盛であるが、半導体不足が生産に影響を与えている。コロナ禍での部品供給網混乱の影響もあった。

### 二輪車

前年比 ↑

2022年2月における二輪車生産台数は前年同月比7.5%増の2.7万台となった。国内向けは37.3%増、輸出は5.3%増であった。排気量別では、50cc以下135.6%増、51cc～125cc以下5.5%減、126cc～250cc以下42.3%減、251cc以上9.7%増であった。半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、部品入荷や物流の遅延が継続・長期化している。現状、スムーズに生産が出来ず、納車が遅れる状態となっている。

### 楽器

前年比 ↑

2022年2月における生産金額は前年同月比7.6%増の29.2億円となった。分野別に2月の生産金額を見てみると、ピアノ2.1%増、電子・電気ピアノ61.9%増、電子オルガン8.6%減、管楽器4.4%減となった。インド、中国、台湾など世界各国の購買力が高まっており、需要は底堅く好調を維持している。

### 繊維

前年比 ↓

2022年2月の生産高は前年同月比4.9%減の605千㎡となった。2カ月連続で前年同月を下回った。アパレル向けの生地需要は低迷が続いている。原材料である綿糸価格は上昇傾向となっており、ガソリン価格上昇による物流コストも大幅に増加した。今後も値上がりが続くようであれば、収益に与える影響が懸念される。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2022年2月におけるタクシー乗車人員は前年同月比17.4%減の17.5万人となった。2月は月を通してまん延防止等重点措置が実施されていたため、昼の買い物客、夜の繁華街での利用客は少なかった。各社、乗務員を休ませるなどして対応した。

### 観光

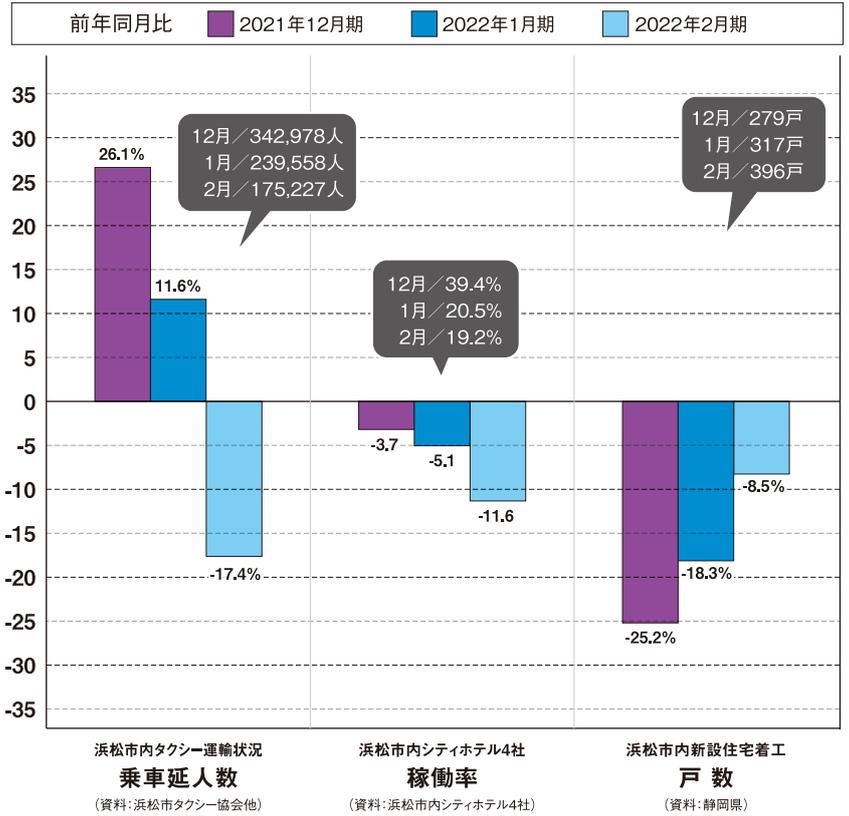


2月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月より11.6ポイント低い19.2%であった。4カ月連続で前年同月稼働率を下回った。2月はGoToトラベルや「静岡今こそ元気旅」などの観光振興策がなかったこともあり、ビジネス客、観光客とも利用者は少なかった。特に、団体客の予約が減った。2月の稼働率は月を通して低調に推移した。

### 住宅着工



2022年2月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.5%減の396戸となった。前年同月より37戸下回った。持家は前年同月比7戸増、貸家は96戸増、分譲住宅は140戸減であった。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を74戸下回る1,551戸であった。浜松市内住宅着工件数は3カ月連続で前年同月を下回っているが、前月との比較では79戸増加しており、幾分持ち直しの傾向が見られる。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2022年2月の有効求人倍率は1.22倍と8カ月連続で1倍を上回った。前月との比較では0.01ポイント、前年同月との比較では0.17ポイント上回った。全国(1.21)との比較では0.01ポイント、静岡県(1.21)との比較では0.01ポイント上回った。有効求人数は2021年5月以降、10カ月連続で前年同月を上回った。前月との比較でも264人上回るなど、雇用情勢の回復が続いている。

### 倒産企業



2022年2月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は1件、負債総額は0.9億円となった。前年同月の倒産件数は4件であり、3件減少した。負債総額も17.9億円少なかった。静岡県全体の倒産件数は4件で前年同月より8件減少した。

### ガソリン価格

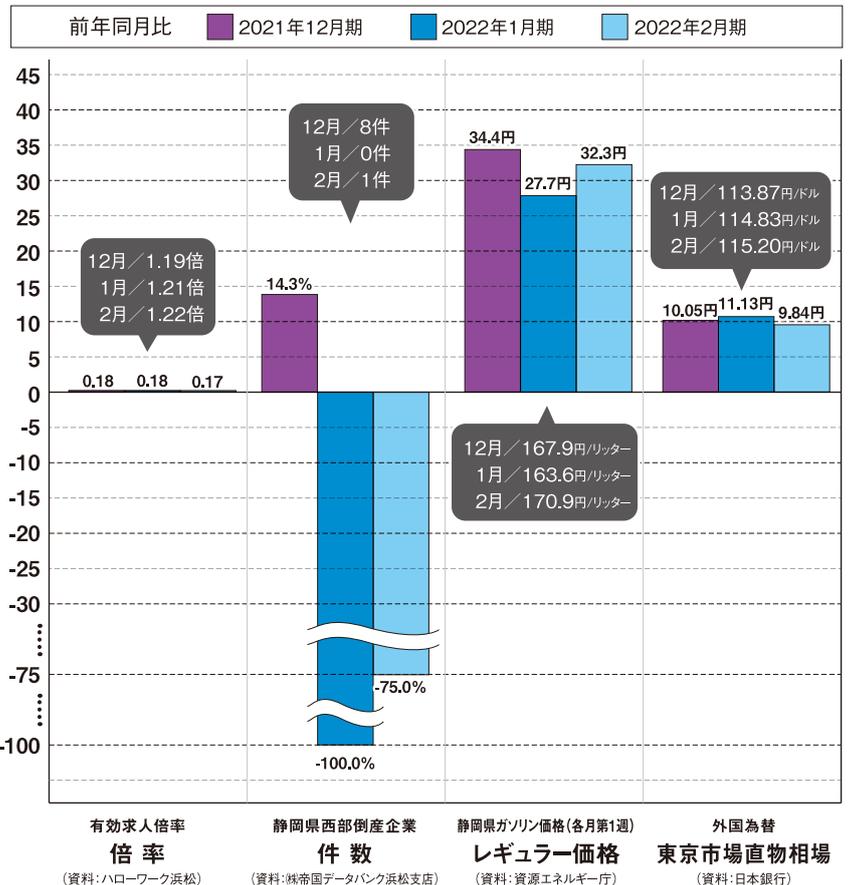


2022年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり170.9円となった。前年同月と比較すると32.3円上昇した。前月との比較では7.3円上昇した。レギュラーガソリン価格が170円を超えるのは13年振りの事である。産油国が大規模増産要請に難色を示していることもあり、値上げに歯止めがかけられない状態となっている。

### 外国為替



2022年2月の外国為替は1ドル115.20円、前年同月と比較すると9.84円の円安となった。前月との比較でも0.37円の円安となっている。円安の要因としては、米国の利上げにより日本との金利差拡大と、資源価格上昇による貿易収支の悪化が見込まれること、日本が円安は正に消極的などが挙げられる。



# 原材料価格の高騰に加え、 オミクロン株急拡大で業況悪化

2022.  
1月～3月期  
中小企業景気動向調査  
結果報告  
2022年5月発行

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、「原材料不足・高騰」「オミクロン株急拡大」「ウクライナ情勢」などが複合的に絡み合い、2 四半期振りに悪化した。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI (Diffusion Index) による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

	全体			うち小規模事業者				
	調査数	業況		調査数	業況			
		前期	今期	見通し		前期	今期	見通し
全体	617				250			
二輪車部品製造	49				22			
自動車部品製造	75				21			
機械部品製造	57				30			
楽器部品製造	20				13			
繊維製造	26				21			
卸売業	73				23			
小売業	59				26			
建設業	68				13			
不動産業	42				29			
飲食・宿泊・レジャー等	21				「2022年1月～3月期中小企業景気動向調査」より 浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI 値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

### 調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 海外向けのバイク、レジャーボートの部品受注が増加している。(二輪車部品製造)
- オミクロン株拡大により、各自動車メーカーの工場停止の影響が出ている。(自動車部品製造)
- 海外からの輸入において、コンテナ代の高騰などコスト増加となっている。(卸売業)
- 資材高騰、設備不足による工期遅延が発生している。(建設業)

